経営をよりよくしたい経営者様へ

経営カイゼンつうしん

今回の
テーマは
設備投資
その4

vol.24

1. 設備投資の効果測定

さて、前回では、効果の数値化を行いました。
もれなく、だぶりなくかきだすことができたでしょうか？

ポイントをおさらいすると、変化するところだけ、変化の分だけ、書き出すことでした。

これができたら、
今度は、年別に合計値をだしてみましょう。

初年度は、設備投資をする年。
ということは、キャッシュ・フローとしては、マイナスなります。

２年目以降は、
年別の合計値分、基本的にプラスで、キャッシュ・フローが生まれるはずです。
マイナスだったら、設備投資をする意味合いがないですよね。

そして、３年後、４年後、・・・と、その設備を使う期間まで、算出してみましょう。

ここまで来たら、感のいい方は、
設備投資を行ったら、キャッシュ・フローで回収できるか？という見方ができると、気づかれたかもしれません。

2. 時間という魔物

ここで、生まれるキャッシュ・フローについて、大きな注意点があります！

みなさん、定期預金って使ったことありますか？
今は低金利で、意味ない金融商品ですが。。。

１００万円の定期預金を預けて、１年後に１０３万円になると仮定したら、年利３％ですよね。
これはわかりやすい。

では、来年１００万円を受け取るためには、年利３％だったらいくら預ければいいでしょうか？
答えは、970,874円です。

ということは、時間という魔物によって、
今年の約９７万円は、来年の１００万円と等価であると言えます。

さて、次回は、この魔物の秘密に迫ります！

みなさまへ、手紙を書くつもりで書きます！

3.自己紹介

国仙悟志（こくせん さとし）　１９７４年７月９日、札幌市生まれ。早稲田大学法学部卒業後、地方大手百貨店に入社し、店頭販売、販売促進、店舗運営、民事再生法手続関連部署にて勤務しました。
　在職中、室蘭店勤務で赴任していたときに、あまりにも時間があることがわかり、（正確に書くと、ビールと焼鳥が美味しく不摂生がたたり、健康診断の結果が悪く、人事部に呼ばれたのがきっかけ）産業能率大学経営情報学部通信課程を受け、卒業しました。勝間和代氏がメディアによく出ていたころで、早起きして勉強に励むという生活スタイルが話題になり、ワタクシも、早起きの習慣を手に入れました。このとき以来ずーっと早寝早起きを行っています。
　その後、中堅石油販売会社にて勤務し、その間に、中小企業診断士を取得し、２０１１年に独立開業、２０１４年に法人を設立しました。百貨店時代に経験したマーケティング、マーチャンダイジング（品揃え戦略）、プロモーション、企業再生、そして、石油販売会社で経験した中小企業の実体験。
これらの経験、さらには、開業後の活動、研究などが、今の仕事のベースになっています。

©中小企業診断士　国仙悟志　株式会社ブルームプラン